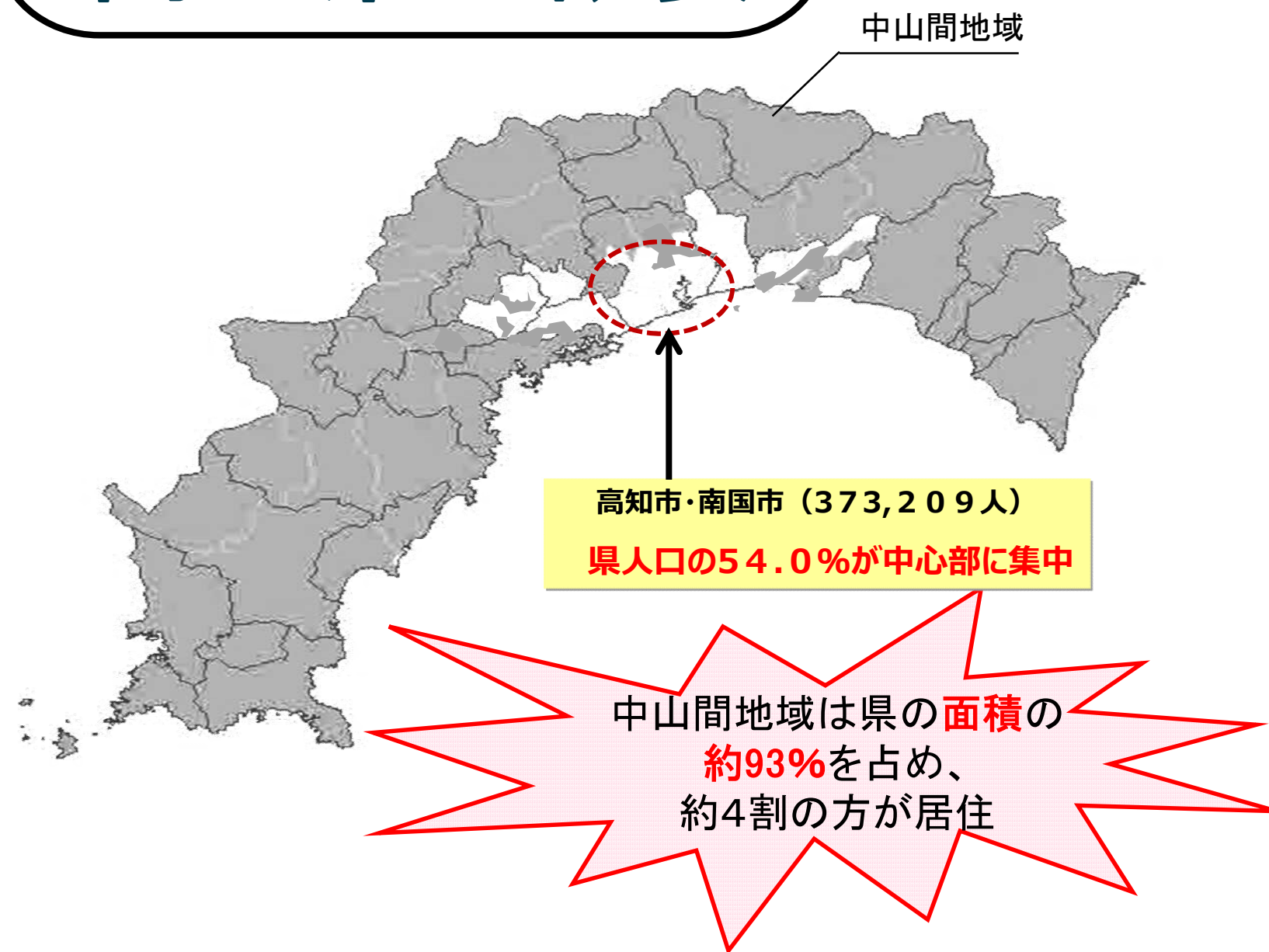


中山間地域における 買い物支援の仕組みづくり

高知県 中山間地域対策課
日高村役場 企画課

高知県の概要



【人口】 691,527人(全国45位)

【面積】 7,103.63km²(全国18位)

【人口密度】 97.3人(全国44位)

※令和2年国勢調査より作成

【森林面積】 84%(全国1位)

全国平均 67%

※林野庁ホームページ都道府県別森林率(平成29年3月31日現在)より作成

中山間地域とは

- 山間地やその周りの地域等、その他地理的条件が悪く農業の生産条件が不利な地域
- 洪水や土砂崩れを防ぐ等、生活を守る多くの機能があり、国土保全上、重要

◇山間部



V字型の地形(山・川・山)



農地に適した土地が少ない



家屋が斜面に点在し、集落を形成

◇海岸部



山と海との距離が近い



平地が少ない

* 令和3年度高知県集落調査より作成

面積(km ²)			人口(人)		
県全体	中山間地域	割合	県全体	中山間地域	割合
7,104	6,623	93.2%	691,527	262,503	38.0%

本県の中山間地域における買い物環境と課題

食料品や日用品を販売する店舗の撤退

- ・人口減少によりスーパー等の店舗が閉店
- ・経営を引き継いでくれる事業者を募集しても、採算が見込めず後継者がいない



公共交通機関の減便・廃止

- ・バス停が遠く、歩いて行けない
- ・本数が少なく、必要なときにすぐ買い物に行けない



高齢化

- ・高齢者は運転免許の返納等によって交通手段がなくなる
- ・ネットの利用に不慣れで、既存のネットスーパー等の活用が困難



買い物サービスの維持や確保が困難となってきた

中山間地域の住民が、住み慣れた環境で不自由なく
買い物ができる仕組みづくりが急務

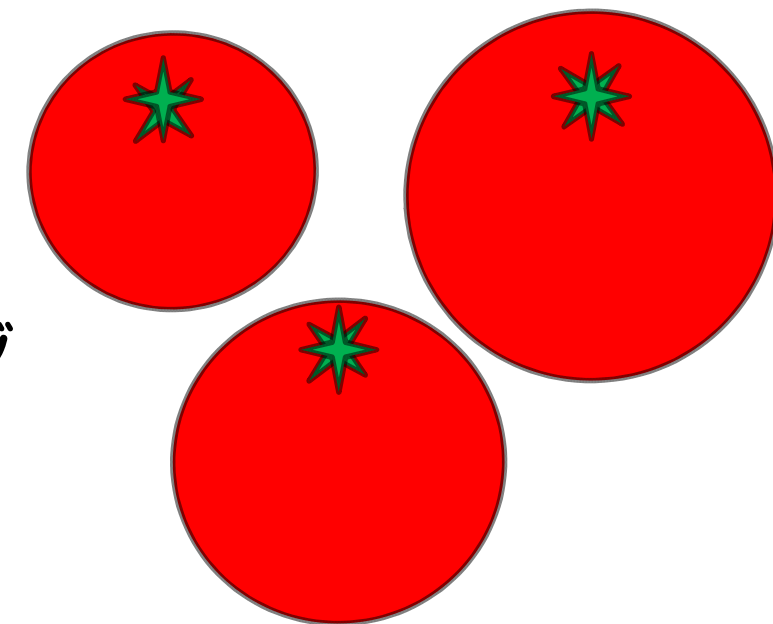
日高村の概要

- 高知県のほぼ中央に位置する、人口約4700人の村
- 村の北部を仁淀川が流れ、丘陵の連なりの中を国道とJR線が平行して走る
- 主な産業は製紙業を中心とした工業



高糖度トマトを"シュガートマト"
としてブランド化

平成26年に始めた「オムライス街道」
事業により日高村＝トマトのイメージ
が定着



日高村の買い物環境について

令和6年9月

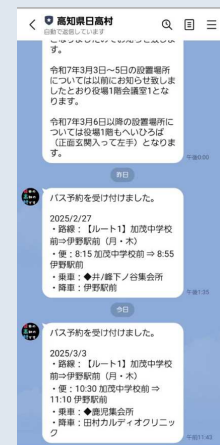
村の中心部にあった

村唯一のスーパーが閉店



今まで徒歩で買い物が出来ていた人が
村外まで買い物に行かなければならなくなった

- 村がバスを出すなどの支援を実施中だが、
「バス停まで距離があって歩くのが大変」
「本数が少ない」など、課題がある



「デジタル化」への取り組み

村まるごとデジタル化事業

日高村では「村まるごとデジタル化事業」により、
”スマホ普及率100%”を目指す取り組みを実施

現在**92.7% (実質)**
を超える普及率



しかし、
高齢者はスマホを保有しても、ネットスーパーで買い物を
するといった積極的な活用には至っていない

バーチャルスーパーの導入（村内山間部）

村内の山間部の店舗では、デジタルサイ
ネージを活用したバーチャルスーパーを導入
利用者はまだまだ少なく、活用はこれから



今後のスケジュール

活動月	活動内容
8月～9月	現地活動(1回目):課題の調査
10～11月	課題整理・解決案の作成
12月	現地活動(2回目):解決案に基づく実証
1月	実証結果のとりまとめ
2月～3月	現地報告会

東大生に期待したいこと

- ・買い物やデジタル環境について、地域の現状や住民ニーズの詳細な聞き取り
- ・行政の既存の取り組みに限らず、(通常のやり方以外も含めた)幅広い視野からの対応策の検討
- ・(可能であれば)デジタル技術の活用による課題の解決

